

令和4年度 第3回パラスポーツ推進プロジェクト実行委員会 会議録

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面による開催とし、議題の報告事項4件について確認し、委員からの質問等についてコーディネーターが書面により回答した。

I 議 題（報告事項）

- ① 関係団体との連携状況について【公開】
- ② パラスポーツやってみるじゃんフェスティバルについて【公開】
- ③ 今後の取り組みについて【公開】
- ④ その他【公開】

II 議事の概要

- ③ パラスポーツやってみるじゃんフェスティバルについて

（委員）

「パラスポーツやってみるじゃんフェスティバル」は好評だったので今後も、より多くの指導員の協力を受けながら定期的に開催できるようにしていきたい。

（コーディネーター回答）

令和5年度以降もより多くの指導員のみなさまにご協力いただきながら、継続して開催していきたいと考えています。

- ③ パラスポーツやってみるじゃんフェスティバルについて
- ④ 今後の取り組みについて

（委員）

③パラスポーツやってみるじゃんフェスティバルについて、より多くの方に知って頂くというところで、来年（2023年）2・3月のホームゲームを活用して頂ければと思います。

④今後の取り組みについて、同じく2023年のリーグ戦で毎試合、体験ブースを設けるなどの取り組みが出来たらよいかと思っております。

（コーディネーター回答）

Jリーグなどの試合は多くの方が会場に訪れるため、体験ブースを設定することについて検討して参ります。

④ 今後の取り組みについて

(委員)

スポーツ交流教室の開催、窓口相談及びフェスティバルの開催など、事業に取り組み成果をあげられたコーディネーターのお二人と県事務局の取り組みに心から敬意を表したいと思います。お疲れ様でした。

振り返りにも記載がありますとおり、今回の各種事業の目的は、パラスポーツの周知、参加者の増、参加する方々の体験であり、所期の目的を達成しておられると思います。

今後において、パラスポーツへの理解を深めるために、事業の継続は必要であり、コーディネーターの方々のご活躍が期待されていると思います。一方で、事業の年限、予算、従事者数など限界もあります。

特別支援学校とモデルスポーツ団体を拠点として、所在地域での事業の拡張、継続をどのように担っていくのか。今年の取り組みを持続するため、拠点の充実が課題となってくるのでしょうか。これからの活動にご期待申し上げます。できるだけ、多くの団体の皆様の力が集結できるよう、引き続き、呼びかけ、参加、支援に努めていきたいと思っています。

(コーディネーター回答)

今後は、特別支援学校を身近な地域の拠点として、また、総合型地域スポーツクラブなどをモデル団体として連携を図って参りたいと考えています。

特別支援学校については、コロナ禍で体験会を自粛していますが、今後回数を増やし、地域の多くの方々の参加を呼び掛けていきます。

モデル団体については、プロジェクトへの理解を深めていただくとともに、連携の手法等について協議して参ります。